



「第30回 夏ゼロ運動実施要綱」

1. 趣旨

夏ゼロ運動は、高温・多湿となり事故や熱中症などの労働災害が発生しやすい夏季に、働く人たちが労働災害に遭うことなく、家族全員が健康で楽しい夏休みを過ごせることを目的に平成4年以来続けられ、本年度で30回目を迎える。

令和2年の岡山県内の労働死亡災害は16人（前年比1名増）となり、休業4日以上労働災害は2337人（前年比216人増）となった。

和気労働基準監督署管内においては労働死亡災害こそ発生しなかったものの、休業4日以上労働災害は95件（前年比6件減）となっており、なかには死亡災害に至っていてもおかしくない重篤な災害も発生している。

このような状況を打破するため、災害防止団体等連絡協議会並びに和気労働基準監督署では、備前商工会議所及び各商工会（赤磐商工会、備前東商工会、和気商工会）と協働で夏ゼロ運動を展開し、事業者及び労働者に対して改めて「災害ゼロ」を広く呼び掛けることとする。

また、夏ゼロ運動実施にあたっては、マスク着用、手指消毒、いわゆる「3つの密」を避けるようにする等、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染防止対策を徹底する。

2. 目標

運動期間中における労働災害をゼロとする

3. 主催

- ・災害防止団体等連絡協議会
岡山県労働基準協会和気支部
岡山県建設業協会和気支部
岡山県トラック協会備前支部
港湾労働災害防止協会岡山支部東備分会
- 耐火物協会中国四国支部
東備耐火物粉碎工業協同組合
備前鉄工業協同組合
- ・和気労働基準監督署

4. 共催

- ・備前商工会議所、赤磐商工会、備前東商工会、和気商工会

5. 実施者

- ・各事業場

6. スローガン

「災害ゼロで 楽しい夏休み」

7. 期間

令和3年7月20日 ~ 令和3年8月31日

8. 実施事項

・災害防止団体等連絡協議会

- 各団体所属の会員事業場に対する本運動実施にむけての指導援助
- 期間中におけるパトロールの実施
- 労働基準監督署との連携

・和気労働基準監督署

- 各労働災害防止団体支部・分会に対する要請及び指導援助
- 各事業場への本運動の周知及び指導援助
- 期間中におけるパトロールの実施

・各事業場

不安全設備ゼロ

- イ 安全通路の確保
- ロ 機械設備等の安全装置の点検整備
- ハ 墜落制止用器具、安全靴、呼吸用保護具等保護具の配付及び点検
- ニ 東備地区清掃運動（事業場全体における清掃及び総点検）の実施
- ホ リスクアセスメントの普及及びその活動の推進

不安全行動ゼロ

- イ K Y T活動の実施
- ロ 指差呼称の励行
- ハ 経営トップ及び安全管理者、安全衛生推進者等安全担当者による事業場内パトロール
- ニ 安全衛生教育の実施
- ホ 交通事故防止対策の実施
- ヘ 熱中症予防対策の実施
- ト 意識高揚のためポスター等の掲示